

商品市況展望

平成 24 年 11 月 18 日記

今週は巻末に「NY ダウ日足」をアップしたのだが、10/5 の 13,600 ドル台から下落に転じた相場は、11 月に入って下げ足を早め、12,500 ドルまで 1,000 ドル以上の下落となっている。相対力指数は 25 ポイント台まで下落しており、**完全な底抜け相場である**。もちろんこれは「財政の崖」問題のせいである。

16 日のオバマ大統領と共和党ベイナー下院議長との協議では、お互いに「財政の崖」回避で一致はみたものの、週末の NY ダウの反発は 45 ドル高にとどまっており、感謝祭位明けの 24 日以降の本格的な協議を見ないと、楽観論は高まるまい。

一方で東京株式市場は久々の 9,000 円台回復を演じ、為替も 81 円台までの円安となっている。自民党・安倍総理の誕生はすでに既定路線であり、市場は同氏の「**無制限の金融緩和**」発言を好感したわけだ。

実際に政権については、そうそう簡単にデフレ退治とは行かない面もあるかと思われるものの、少なくとも国民は「民主党よりはマシだろう」と思っているわけで、市場は先取りを始めているわけだ。

民主党は「政権交代こそが一番の景気対策」と訴え、国民は「一度やらせてみるか」と政権の座についたわけだが、3 年経ってそれが逆の意味で正解となったわけだ。

解散のどさくさに紛れて「年金引き下げの法案」も通過したし、「コンクリートから人へ」で盛大にばら撒いたカネの圧縮、つまりは「生活保護費への切り込み」などもこれから始まるのだろう。確かに「年金をもらうよりも、生活保護を受けた方が楽な生活ができる」というシステムでは、真面目に仕事している人が報われない。ましてやその生活保護を、外国人が受け取っているというのでは、納得出来ない人は多かろう。

無駄なダムや道路は確かに要らないだろうが、コンクリートは次世代に残るものだし、雇用も生まれて景気対策になる。人に直接カネをばら蒔いても、乞食が増えるだけで何も生み出さない。今後は、やっと売国左派が退場してゆく事になるのだろう。そうは言っても、一定の割合は必ず残るのだろうが。

そんな中、第 3 極と言われる日本維新の会と太陽の党が合流。みんなの党とも選挙協力だろうから、当初は野合だと思っていた当方だが、無視できない勢力を持つことになるのかもしれない。

経済は一流、政治は三流と言われる日本だが、大きな流れが変わるようなら「政治が相場に影響を与える」事にもなるのかもしれない。今の為替相場、株式市場は、久々の日本発の材料での動きが出ているわけだし。

また石油、貴金属相場には中東情勢がどこまで影響するのか注目であり、現在イスラエル軍がガザ地区への攻撃を激化させているわけだが、この行方には注目だ。どうしても選挙の影に隠れる格好となるだろうが、そのニュースには敏感にアンテナを張っておかねばならないだろう。

〔貴金属〕

○東京金日足

…削除済み…

今週の金の値動き

	12月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
11月12日	¥4,436	-10	¥4,445	-9
11月13日	¥4,401	-35	¥4,411	-34
11月14日	¥4,426	25	¥4,436	25
11月15日	¥4,480	54	¥4,490	54
11月16日	¥4,466	-14	¥4,472	-18

金相場は、先週号においては『**長期的には金融緩和継続見通し**が買い相場を演出すると考えているものの、目先は「**財政の崖**」問題からの一段安が先に来て欲しいところ。買いは底固めを終了してからと見る』とコメントした。

今週の相場展開は、週末には（実際には15日の夜には）**4,522円**と10月初め以来の4,500円台乗せまで上昇。81円台まで円安になった効果が大きく、NY金の下落とは反対に上昇を演じる事となった。

なお週末の夜間取引では、高値4,500円を再び記録し、終値は4,495円での終了である。来週も為替動向や中東情勢を映し、ある程度激しい動きとなりそうだ。そして週末は怖い3連休に入るため、資金配分には万全を期したいところ。

さて現状の日足チャートは、…中略…

ともかく先週までは、「**財政の崖**」問題もあることだし、もう少し下値探りをして、値固めを終えてからの反騰になると考えていたわけだが、国会での党首討論からまさかの解散となった事が、為替の円安を演出して一気に地合いが変わったわけだ。

そこにニュースとして入って来ているのが、**イスラエル軍のガザ地区攻撃の報**である。NY金はまだ敏感な反応はしていないが、かなり売りにくくなった事は事実。国内市場のチャートでは相対力指数がまだ55ポイントと、50ポイント割れから反転してきているが、買い余地は大きいと思える値位置である。**弱気はしばらく**。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,654	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,466
2013年2月	¥4,654	2月27日	¥4,654	2月27日	¥3,885	6月4日	¥4,467
2013年4月	¥4,307	4月25日	¥4,546	10月5日	¥3,886	6月4日	¥4,468
2013年6月	¥4,023	6月27日	¥4,548	10月5日	¥3,940	7月24日	¥4,469
2013年8月	¥4,224	8月29日	¥4,550	10月5日	¥4,166	9月3日	¥4,469
2013年10月	¥4,404	10月29日	¥4,522	11月16日	¥4,330	11月6日	¥4,472

○NY 金日足

…削除済み…

週末 11/16 の NY 市場は、前日比 0.9 ドル高の 1714.7 ドルでの終了。

チャートでは 1798.1 ドル (10/5) →1672.5 ドル (11/5) まで 125.6 ドル下げた後、→1739.4 ドル (11/9) まで 66.9 ドル反騰。半値戻しの後、また弱くなって 16 日も 1705.6 ドルまで下げていたが、1700 ドル割れは回避して小戻ししたわけだ。

いずれにせよ NY 金は、9 日以降はドル高で下げているわけだが、東京が逆行高したのは円安のためである。その為替は、81.22 円で NY 市場は終了している。

CFTC 発表の 11/13 現在のファンドのポジションは、…中略…

また 11/16 現在の ETF 残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、国内相場 4,330 円、NY 金 1672.5 ドルで調整安は完了した模様。再び押し目買い有利になった状況と思え、特に NY 市場でのファンドの買いが 5 週ぶりに増加に転じた事は、評価出来るだろう。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

今週のプラチナの動き

	12月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
11月12日	¥4,033	31	¥4,036	31
11月13日	¥4,010	-23	¥4,016	-20
11月14日	¥4,111	101	¥4,118	102
11月15日	¥4,131	20	¥4,131	13
11月16日	¥4,088	-43	¥4,098	-33

プラチナ相場は、先週号においては『13日のJマッセイ需給報告で弱気の出れば、そこで売られてアク抜けしてくれる事を期待している。現時点では、南アの騒乱が拡大しない限りは、下向きかもしれない』とコメントした。

今週の相場展開は、13日夜にJマッセイ社の需給報告で強気の発表がなされると、一気に急騰。4,000円前後でもみ合っていた相場が4,159円(11/15)まで上昇し、週末は若干軟化して終了。

その後の夜間取引は、4,100円台にまた上がって、確りと引けている。

チャートでは4,395円(10/5)→3,933円(10/30)まで462円の急落を演じた後、4,159円(11/15)まで226円の戻りと、約半値戻しである。

4,050円を割り込んで完成したWトップは、そこから100円超の下げで調整完了となったのかもしれない。

もちろん金よりも景気に敏感なプラチナ相場ゆえ、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	¥3,605	12月26日	¥4,582	3月14日	¥3,471	7月24日	¥4,088
2013年2月	¥4,535	2月27日	¥4,589	3月14日	¥3,468	7月24日	¥4,084
2013年4月	¥4,090	4月25日	¥4,381	10月5日	¥3,466	7月24日	¥4,090
2013年6月	¥3,681	6月27日	¥4,386	10月5日	¥3,460	7月24日	¥4,094
2013年8月	¥3,860	8月29日	¥4,395	10月5日	¥3,807	8月31日	¥4,094
2013年10月	¥3,998	10月29日	¥4,159	11月15日	¥3,933	10月30日	¥4,098

さて11月13日に発表されたJマッセイ社の需給予想である。残念ながら11月～来年4月の価格予想の情報が当方には入ってきていない。

ただし南アの鉱山ストによる生産の10%減少が供給不足を生じさせ、40万オンスの供給不足とされた。

需給だけなら、パラジウムの方がロシアの在庫減もあってきついし、欧州で人気のディーゼル車は触媒にプラチナではなくパラジウムを使うとの事で、もっと強材料にはなっているが。

○プラチナ－金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、4,098 円（プラチナ）－4,472 円（金）＝**－374 円**。

現状では－450 円～－300 円程度でのみ合いの状況であるが、…中略…

結論として当方の相場観は、相場動向の主役は金相場だと思われるものの、3,933 円で調整完了と見る押し目買いの方に多少分があるだろうと見る。

〔穀物〕

○東京コーン日足

…削除済み…

今週のコーンの値動き

	1月限(当限)	前日比	11月限(先限)	前日比
11月12日	¥26,890	90	¥24,930	-420
11月13日	¥26,590	-300	¥24,460	-470
11月14日	¥26,670	80	¥24,610	150
11月15日	¥26,980	310	¥24,800	190
11月16日	¥27,190	210	¥24,770	-30

まずはコーンから…

先週号においては『シカゴのチャートではまだ下げ余地を残しているような格好であるが、東京市場は完全に横ばいであり、もうすでに来年の相場を考える相場になっているものと見る』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けからの下落で **24,420 円 (10/14) まで下落**するものの、一代安値の更新は逆ザヤの先物のみ。暴落と呼ぶにはほど遠く、週末に掛けては小戻しである。

先週号でもコメントしたが、今年の相場はすでに面白いところは終わっているのだろう。次は来年の天候相場であり、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年1月	¥21,790	12月16日	¥30,950	8月22日	¥20,520	6月4日	¥27,190
2013年3月	¥23,290	2月16日	¥30,340	8月22日	¥20,820	6月4日	¥27,250
2013年5月	¥23,250	4月16日	¥30,300	8月13日	¥21,040	6月4日	¥27,790
2013年7月	¥21,550	6月18日	¥30,300	8月13日	¥21,490	6月18日	¥27,830
2013年9月	¥28,500	8月16日	¥29,430	8月23日	¥25,510	10月1日	¥27,230
2013年11月	¥25,600	10月16日	¥25,800	10月19日	¥24,420	11月14日	¥24,770

○シカゴコーン日足

…削除済み…

週末 11/16 のシカゴ市場は、12月限で 5.75 セント高の 727.00 セントでの終了。来年の9月限では 1.25 セント高の 628.50 セントである。

…中略…

なお CFTC 発表の 11/13 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、逆張り、持ち合い相場が続くだろう。来年の天候相場期までは見るべきものはさしてないと思われ、新たな仕掛けはする時期でもないと思う。穀物相場は冬休みと考えるのが良いだろう。

○東京大豆日足

…削除済み…

今週の大豆の値動き

	12月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
11月12日	¥53,950	-640	¥47,610	-920
11月13日	¥52,790	-1160	¥47,400	-210
11月14日	¥52,850	60	¥47,740	340
11月15日	¥53,320	470	¥48,050	310
11月16日	¥53,470	150	¥47,450	-600

続いて一般大豆です…

先週号においては『天候相場開始前までは、良くてもみ合い。悪ければ一段安に向かうのではないかと想定している。天候相場の始まりは、皆が買いで参入したいはずでもあり、それなら今のうちに下げておくのは売り方・買い方双方とも利害が一致するのではあるまいか』とコメントした。

今週の相場展開は、**47,300円(11/13)まで下落**の後、若干の反発を演じたが、週末にはまた値を消しての終了となった。

仮に円安/ドル高が進行するならばシカゴが下げるはずで、**円安が進んでも5万円台回復は難しそう**だ。かと言ってシカゴも14ドル割れも出たことだし、東京市場のチャートを見ても**大暴落に繋がるような事もまた無い**だろう。

おそらく来年の天候相場期前までは現状のような、つまらん相場が続くと覚悟しておいた方が無難であり、今年の面白い相場はもう今や過去のものとなったと判断するのが妥当だろう。

もしも今動くとするならば、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	¥37,500	12月16日	¥63,950	7月23日	¥36,830	12月16日	¥53,470
2013年2月	¥41,900	2月16日	¥60,000	7月23日	¥41,050	2月16日	¥50,380
2013年4月	¥45,350	4月16日	¥56,480	7月23日	¥41,750	6月4日	¥49,790
2013年6月	¥44,700	6月18日	¥52,190	7月20日	¥44,400	6月18日	¥48,550
2013年8月	¥48,020	8月16日	¥51,810	9月5日	¥47,500	11月13日	¥47,600
2013年10月	¥47,220	10月16日	¥49,750	11月5日	¥46,920	10月16日	¥47,450

○シカゴ大豆日足

…削除済み…

週末11/16のシカゴ市場は、1月限で18.75セント安の1383.25セント。11/13の安値を割り込み、また大きく下げている。

もともと**来年の11月限だと8.25セント安の1262.50セント**。つまり新穀・旧穀は逆ザヤ縮小に向かっているわけで、東京市場も徐々にそういう方向に向かうだろう。

天候相場の始まりは春だが、その時の値位置は低ければ低いほうが面白い。まさか天候プレミアムを無視して売りからスタートするというのはしづらいのが一般投機家なわけで、買いから入りたいのが人情。ファンドだってそうだろう。

そうであれば、底は来年の2月頃に打つのが理想であり、今はじっくりと待つのがベターであろう。

なお CFTC 発表の 11/13 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、大暴落まではしないだろうが、今は買われる相場ではないだろう。来春の天候相場期前まで安値を出すのが理想であり、それまではじっくりと力を溜めておくというのが良いだろう。

[ゴム]

○東京ゴム金日足

…削除済み…

今週のゴムの値動き

	11月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
11月12日	232.9	-3.0	244.3	-2.1
11月13日	231.8	-1.1	242.7	-1.6
11月14日	233.5	1.7	245.9	3.2
11月15日	238.9	5.4	251.0	5.1
11月16日	236.1	-2.8	248.2	-2.6

先週号においては『戻り売りからの脱却は非常に困難だろう。流れはまだ下向きであり、戻り売り方針に変化はないだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、**241.8円(11/12と11/14に記録)**まで下げて一代安値を更新した後に、250円台まで10円の反騰。

日々雑感でコメントしたが、ゴムは13日周期で動いていたため、反騰のタイミングは取りやすかった。しかし週末にはまた反落し、戻り売りは簡単に終わらない事も実証。今後も、戻れば売られる展開が続くだろう。

チャートでは260円台回復となればムードも多少変わろうが、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年11月	267.8	5月28日	274.0	5月30日	203.6	8月15日	236.1
2012年12月	233.3	6月26日	271.5	10月5日	204.5	8月15日	236.8
2013年1月	230.2	7月26日	272.7	10月5日	205.6	8月14日	239.7
2013年2月	230.0	8月26日	274.2	10月5日	216.4	8月31日	243.5
2013年3月	253.5	9月25日	275.5	10月5日	240.0	11月12日	246.4
2013年4月	262.1	10月26日	263.9	10月26日	241.8	11月12日	248.4

先物2本が一代安値の更新である。

当先のサヤは、11月限236.1円～4月限248.4円と**12.3円の順ザヤ**。サヤに大きな変化は見られない。

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、10/31現在で411トン減の5,833トン。2旬ぶりの減少である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、24,000 元を挟んだもみ合いが続いている。

ゴム独自の材料は特に出ていないが、産地はこれから増産期に入る。戻り売りから脱却するには、生産国の対策うんぬんよりも、まずは経済が好調になって自動車販売が増加しないと消費が上向かない。それは、ちょっと難しいのでは？

結論として当方の相場観は、戻り売り継続の相場であろう。最終的には 205 円を目指している相場だと考えるが、たまに買われたところを売るのがベターだ。

〔原油・石油製品〕

○東京原油日足

…削除済み…

今週の原油の値動き

	11月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
11月12日	¥53,470	520	¥51,840	720
11月13日	¥53,250	-220	¥51,540	-300
11月14日	¥53,290	40	¥51,570	30
11月15日	¥54,090	800	¥52,950	1380
11月16日	¥54,040	-50	¥52,730	-220

まずは原油から…

先週号においては『方向感の掴みづらい乱高下が続くのではあるまいか。今は逆張り対処での戦略が、ベターなのではないかと考える』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は6日の急騰、7日の急落で84.05ドルまで記録した後、85ドル台でのみ合い推移。週末11/16は、前日比1.22ドル高の86.67ドルと確りであった。

チャートでは89ドルと来れば強くなりそうだが、今はまだ84ドルが底値と決まったわけではない状況。ちょっと判断の難しいところである。

…中略…

また11/13現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

東京原油は、NY原油などがもみ合いをする中で、円安の追い風に乗って15日に急騰。週末は高値で53,640円と11/8の高値を更新する状況となり、その後は小安く引けている。…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年11月	¥47,650	5月1日	¥56,110	9月18日	¥44,190	6月26日	¥54,040
2012年12月	¥47,580	7月2日	¥56,080	9月18日	¥46,240	7月3日	¥53,860
2013年1月	¥48,890	8月1日	¥55,790	9月18日	¥48,420	8月1日	¥53,380
2013年2月	¥53,910	9月3日	¥55,540	9月18日	¥50,290	9月21日	¥53,120
2013年3月	¥52,040	10月1日	¥54,420	10月17日	¥50,610	11月12日	¥52,910
2013年4月	¥51,740	11月1日	¥53,640	11月16日	¥50,390	11月12日	¥52,730

結論として当方の相場観は、3,000円幅の乱高下から円安の追い風に乗れ、相場は再び押し目買いへと変化しつつある気配。今後も為替情勢、中東情勢には注目であるが、一方で世界景気への懸念も根強いいため、高値飛びつき買いも危険だろう。よって押し目買い中心の、逆張りでの対処がベターだろう。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

今週のガソリンの値動き

	12月限(当限)	前日比	5月限(先限)	前日比
11月12日	¥61,870	940	¥64,380	900
11月13日	¥62,830	960	¥64,230	-150
11月14日	¥63,460	630	¥64,490	260
11月15日	¥64,760	1300	¥66,030	1540
11月16日	¥64,420	-340	¥65,840	-190

続いてガソリンです…

先週号においては『もみ合い～逆張りの相場展開が続きそうだ。しかし、もしも抜けるとすれば三尊天井形成からの底抜けの可能性の方が、今は高いのではあるまいか』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けの急反騰～15日の円安での急騰を受け、先物は週末に一代高値の更新。**66,950円(11/16)**を記録した後は、長い上ヒゲ陰線で下落したが、夜間取引ではまた上昇に転じている。

米大統領選を挟んでの乱高下は、**安値 62,490円(10/6)～高値 65,740円(10/7)**と**3,000円超の動き**であったが、今週はその高音をクリアした情勢である。

…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	¥61,470	5月28日	¥66,660	9月18日	¥53,530	6月26日	¥64,420
2013年1月	¥54,070	6月26日	¥66,530	9月18日	¥53,460	6月26日	¥63,340
2013年2月	¥58,670	7月26日	¥66,350	9月18日	¥58,160	7月27日	¥63,650
2013年3月	¥64,510	8月27日	¥67,170	9月18日	¥61,020	9月21日	¥64,360
2013年4月	¥63,400	9月26日	¥67,330	10月15日	¥62,560	11月6日	¥66,030
2013年5月	¥65,180	10月26日	¥66,950	11月16日	¥62,490	11月6日	¥65,840

11/16現在の業者間転売価格は、…中略…

11/10現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、今週の円安での急騰で、三尊天井形成型のチャートにはまた変化があった。素直に見れば押し目買いだが、一気に上に走るよりは今後も乱高下を続ける可能性の方が高そう。よって押し目買い中心の逆張りがベターであろう。

○東京灯油日足

…削除済み…

今週の灯油の値動き

	12月限(当限)	前日比	5月限(先限)	前日比
11月12日	¥68,110	880	¥64,120	770
11月13日	¥68,090	-20	¥63,940	-180
11月14日	¥68,060	-30	¥63,970	30
11月15日	¥69,060	1000	¥65,400	1430
11月16日	¥68,820	-240	¥65,140	-260

最後に灯油です…先週号においては『基本的には戻り売り相場に変化はないと見ているものの、安値から切り返したため、チャートの変化が起きた場合には中立に戻るのが良いだろう。今はまだ、そうなっていないが…』とコメントした。

今週の相場展開は、15日の急騰によって、米大統領選での3,000円幅の乱高下を上に抜ける展開となった。**66,100円(11/16)**は一代高値の更新であり、その後はすぐ1,000円安の調整を入れたが、夜間取引では再び上昇に転じている。

チャートでは一目均衡表の雲の上に出るかどうかの瀬戸際。抜けてゆく様なら、62,000円台で調整安は完了したと見ることも可能だろう。

ただし先物に不需要期が建っている関係上、…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年12月	¥64,110	5月28日	¥70,550	9月18日	¥56,800	6月26日	¥68,820
2013年1月	¥57,800	6月26日	¥70,400	9月18日	¥57,080	6月29日	¥68,530
2013年2月	¥61,810	7月26日	¥70,230	9月18日	¥61,350	7月26日	¥68,150
2013年3月	¥67,500	8月27日	¥69,750	9月18日	¥64,080	11月6日	¥66,750
2013年4月	¥64,320	9月26日	¥67,710	10月17日	¥62,960	11月6日	¥65,640
2013年5月	¥64,410	10月26日	¥66,100	11月16日	¥62,530	11月6日	¥65,140

11/16現在の業者間転売価格は、…中略…

11/10現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、反発に転じたチャートが強くなるか、戻り売りのままなのかの瀬戸際に来ている。一方的な弱気の相場観は捨て去るが、買うならガソリンの方がマシとの考えもあるので、中立にしての様子見がベターであろう。

[為替・その他]

○ドル/円相場日足

…削除済み…

14日、15日の円安は、市場が安倍政権誕生を先取り評価し、かつ「無制限の金融緩和」発言を評価したためである。久々に、日本の政治家の発言が市場に影響を与えたわけである。

とにかく結果として、81.46円（11/15）まで円安は進んだわけだが、…中略…

なお来週の主な予定は、

19日（月）米中古住宅販売件数（10月）

20日（火）日銀金融政策決定会合、白川日銀総裁の記者会見

ユーロ圏財務相会合、ギリシャに対する支援融資の再協議

バーナンキ FRB 議長、講演

22日（木）米国市場は休場（サンクスギビングデー）EU 首脳会議

23日（金）勤労感謝の日で日本市場休場

などである。

○ユーロ/円相場日足

…削除済み…

14日、15日の円安は対ドルだけではなく、対ユーロでも起きたわけだが、10/23の円安ピークの104円台にはまだ到達していない。

ただし結果としては、100円台まで円高となっていた相場が、一目均衡表で支えられた格好とはなっている状況である。

○ユーロ/ドル相場日足

…削除済み…

ユーロ/ドル相場も、11/13で若干反転し、ドル安に向いているわけだ。「財政の崖」問題に影響されているのかもしれない。

現状での「財政の崖」問題や、欧州問題など、…中略…

○NY ダウ日足

…削除済み…

東京株式市場が久々に9,000円台を回復するという明るいニュースの中、「財政の崖」問題を懸念されたNYダウは暴落。

10月からはすでに1,000ドル以上下げ、チャートは底抜け状態となっているわけだ。

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。
内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。
(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス info@higenaka.com